

Directed by Robin Hardy

Producer: Peter Snell ✂ Writer: Anthony Shaffer ✂ Director of Photography: Harry Waxman  
Music: Paul Giovanni ✂ Editor: Eric Boyd-Perkins  
Art Direction: Seamus Flannery ✂ Costume Designer: Sue Yolland  
Choreographer: Stewart Hopps ✂ Song: "Corn Ribs," Sung by Paul Giovanni ✂ Makeup: Billy Parfleton



# THE WICKER MAN

"The Citizen Kane" of Horror Films

Sergeant Howie: Edward Woodward ✂ Lord Summerisle: Christopher Lee  
Miss Reso: Diana Cileato ✂ Willow: Britt Ekland  
Librarian: Ingrid Pitt ✂ Alder MacGregor (owner of "Green Man" Pub): Lindsey Kemp  
Harbor Master: Russell Waters ✂ Old Gardener/Gravedigger: Aubrey Morris  
May Morrison: Irene Sinters ✂ School Master: Walter Carr  
Oak: Ian Campbell ✂ Hairdresser: Leslie Blacketer  
Broome: Roy Boyd ✂ Roman Morrison: Geraldine Cooper



この脚本にまさるものを書ける人がいるのだろうか……。サマーアイル卿は間違いなくこれまでに演じた中で最高の役柄だった。  
 ……………クリストファー・リー(サマーアイル卿)  
 ケルト族の神話はとても奥の深いもので、これまでに誰一人としてそこに足を踏み入れてこなかった。だから、誰かがしてもいい頃だと思ったんだ。  
 ……………アンソニー・シェーファー(脚本)  
 製作は忘れがたく、伝統を打ち破るようなやり方だった。音楽はおそらく今までに映画音楽としては、聴いたこともないほど異質なものでしょう。  
 ……………ピーター・スネル(製作)

# ケルト神話の世界が今、蘇る

楽しく『ウィッカーマン』に乾杯! コワイけどね。

文◎滝本 誠(映画評論家)

いよいよ『いわくつき』の快作『ウィッカーマン』の劇場公開である! 快作=怪作である。もちろんのことではないか? それが「ジャンル」の逸脱者の宿命である。「ジャンル」は逸脱が難しい。そうは見えずとも、キリスト教に逆らってはならないホラーな掟がある。ウィッチ、黒魔術、結構結構、しかし、ラストでは……わかっているな? そこんとこよろしく、というホラーな掟だ。

しかし、『ウィッカーマン』は、これを破った。73年に製作されたが、会社幹部から「なんでこんなものを作ったんだ」と激怒され、ニコラス・ローグの「赤い影」公開のつきあわせてようやく、それもスタスタにされた編集で公開されてしまった。のも、「掟」に触れたためである。後に「ホラー界の『市民ケーン』」という評価まで出たが、これでは何のことかわからない。「セックス映画の『市民ケーン』」というなら少し分かる。オーソン・ウェルズを「男根」状肉体ととらえる小生のような下品な想像力によって。

いずれにせよ、『ウィッカーマン』に意識的、無意識的の間わず落ちているのは、「60年代」のセックス解放と異教的なものの復活のムーブメントの余韻である。脚本が「探偵スルース」(劇&映画)、そしてアルフレッド・ヒッチコック「フレンジー」のミステリー作家アンソニー・シェーファー。逆転のストーリー・テリングと重い内容を実に軽くするセリフの妙手だ。シェーファーのこの妙手は「ウィッカーマン」でもいかに発揮されていて、重い内容がこれまた実に軽やかなのだ。言ってみれば、地方方言でおばさんたちがエロ話に興じているそんな風情すら『ウィッカーマン』に与えたのはシェーファーの功績だろう。楽しく楽しく楽しめ。

そうは言っても、やはり『いわくつき』である。『いわくつき』というのは、イギリス以外でのバージョンが長尺オリジナル版公開と短縮版が勝手に上映され、批評が混乱してきたことがまず第一。今回は、以前日本で発売され、現在廃盤でどこにも手に入らないビデオ版(東映ビデオ)よりも、7分長い88分版バージョンでの上映となるので、ホッとしている。

「いわくつき」の意味はまた、触れたように「ジャンル」からの逸脱はいいものの、この作品のジャンルをどこに定めていいものか、これがまったくわからないという掟破りの曖昧さにある。これまではホラーの名のもとにカルト化してきたわけだが、ホラーの枠はいかに『ウィッカーマン』の身にはきつすぎる。スコットランド本土からハウイー警部が、サマーアイル卿が統治する島を訪れ、行方不明の少女を捜査する、という構造はミステリーのものであり、多くのシーンがフォークロア・ミュージック・スタイルのどかに歌われ進行するあたりは、奇妙な土俗ミュージカル、または仮面劇を見ているようで、また性的シンボルを全編に散りばめた、男根崇拜、大地豊穡のセックス讃歌映画であり……。そして、ラストに至ってようやく「ホラー」が「ホラー」としての真を見せるわけだ。しかも、このゲームはデビッド・フィンチャーの「ゲーム」よりもはるかにこわい真、死のゲームなのである。全編を通じてただ一人シリアスなのが、不思議(セックス)の国に迷いこんだかのハウイー警部のみという世界。『ウィッカーマン』の奇妙な味に印象の似たものを探せば「まぼろしの市街戦」だろうか? シャーリー・ジャクソンの「くじ」だろうか?

「ウィッカーマン」は異世界を創造するわけだが、しかし、この異世界、どこかにありそうな……。住みたい(?)が、訪れたくはないカルトな世界……。

ポンド・ガールでもあったブリット・エクランドが、3カ月の身重(りんごの豊作を祈るこの映画に身重女優はまさに天の授かりものであろう)をおしてみせる「誘惑のソードダンス」が、いい! おおきくグライドさせながら、ぼちり、ぼちりと腰を手のひらでうつ。いいな、いいな。このとき流れる歌ののどかなまでの性欲讃歌とのジョイントぶりは、インド映画も真つ青であろう。画面ごちらに歩きながら両手ですりごぎを回すようにグリグリ、いやいやなんたる見物! ドラキュラ、失礼、クリストファー・リーもなんとも楽しそうである。腫い踊る。彼が代表作に『ウィッカーマン』をあげる理由もわかるというものだ。

庄巻は、ラストの巨大なウィッカーマン、この木造りの巨大な儀式像、建築物だろう。この造形だけで、ちょうどクライヴ・バーガーの最高短編「丘に、町が」のあの人間でできた生ける巨大像に匹敵するようなインパクトがある。

ようやく、スクリーンに放たれる。『ウィッカーマン』に乾杯! 楽しく楽しく楽しめ、コワイけど。

※ Director: Robin Hardy ※ Producer: Peter Snell ※ Writer: Anthony Shaffer ※ Director of Photography: Harry Waxman ※ Music: Paul Giovanni  
 ※ CAST: Edward Woodward / Christopher Lee / Diane Cilento / Britt Ekland / Ingrid Pitt / Lindsey Kemp / Geraldine Cowper  
 ※ 監督: ロビン・ハーディー ※ 製作: ピーター・スネル ※ 脚本: アンソニー・シェーファー ※ 撮影: ハリー・ワックスマン ※ 音楽: ホール・ジョヴァンニ  
 ※ 出演: エドワード・ウッドワード/クリストファー・リー/ダイアン・シレント/ブリット・エクランド/イングリッド・ピット/リンゼイ・ケンプ/ジェラルディン・クーパー

A British Lion Production 1973 ※ U.K. ※ 88min. ※ Technicolor  
 1973年 ※ イギリス映画 ※ 88分 ※ テクニカラー ※ 日本初公開 ※ 1973年(パ)ファンタステック映画祭グランプリ受賞 ※ 配給: ケイブルホーグ

# THE WICKER MAN

大阪

待望のレイトロードショー

京都

前売券好評発売中! 前売一般=1,400円(当日一般=1,700円の処)

6/6(土)~19(金)

ホワイティめだの広場上がる 東へ5分  
 扇町ミュージアムスクエア  
 06・361・0088

6/23(火)~29(日)

九条大宮・近鉄東寺駅西150M  
 京都みなみ会館  
 075・661・3993  
 お問合せ<RCS>075-342-4050

連日8:30p.m.~

連日8:50p.m.~

<香港まっしぐら>  
 連日8:45PM

5/23~26 『冒険王』  
 5/30~6/2 『008・皇帝ミッション』  
 6/7~9 『欲望の街II 銅鑼湾の疾風』

5/27~29 『ミラクル・マスクマン-恋の大変身』  
 6/3~6 『食神』  
 6/10~12 『欲望の街II 台湾立志伝』

6/27(土)~7/3(金) 9:00PM

OTSUYU 一怪談牡丹灯籠

アメリカ村 BigStep 4F  
 パラダイスシネマ  
 06-282-1460